

大町病院を守る会会報

№. 10 ダイジェス

ト版 2011 年 10 月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

江口泰広氏公開講演会に 70 名が参加

守る会に多くの示唆と激励をいただく

私たちにはいき長く 何ができるか考え歩もう

守る会第 1 回公開講演会

10 月 1 日、大町病院を守る会主催の公開講演会が商工会議所講堂で開催された。講師は学習院女子大学教授、経営学者の江口泰広氏。6 時から 7 時 45 分まで 1 時間半を超えるパワーポイントを使った、熱い期待を込めた講演が行われた。参加者は 70 名。講演要旨は次のとおり。

・「守る会」＝NPO（非営利組織）は当初熱志を抱く有志がリードするが、しかし時間とともに上手いかなくなるケースも少なくない。

◆「守る会」は何をもってその存在を維持し、またどのような活動によって評価してもらうかがその継続のためには大きな意味をもつ。



講演する江口泰広学習院女子大教授・経営学者



挨拶する北村会長と来賓牛越市長・病院開設者

◆ボランティアの成果測定は難しいが、その成果を達成し、社会貢献するためにはミッション（使命）と成果の定義の明確化が必要であり、そのためには対象＝顧客が誰であり、その顧客が何を求めているかを明確にすることが重要。

◆「守る会」は顧客が誰かを考え、それぞれの成果が何かを考える必要がある。

・（NPOは往々にして、大義のために成果の有無にかかわらず理想を追求すべきであると考えがち）

・資源は成果を上げる領域に投入すべきである。

◆「守る会」のサービスの受け手＝顧客（利害関係者）は誰か？ その中には病院（経営者、医師、看護師、事務、患者、ボランティア）、行政、かつての患者、地域住民（社会）等々がある。

◆病院は、患者は、住民は、家族は「守る会」に何

ミッションと成果

◆「守る会」のミッション（使命）は住民の意見をよく聞き病院に届け、医師、病院の話をよく聞き、住民に届けるパイプ役として行動すること。

・ ミッションにそって病院地域懇談会、大町病院際、布切り、剪定、受付等種々のボランティア活動（人件費削減に貢献）をよく実践している。

を期待しているのか、何をして欲しいかのかを考え行動することが重要。

マーケティング発想

- ◆ 「守る会」を進めるにあたり①明確なミッション ②具体的計画 ③マーケティング戦略 ④人材 ⑤資金の5つのものが必要となる。
- ◆ 「守る会」の活動を意義あるものとするためにはサービスの受け手の側にたつことが大切。
- ◆ 活動を進めるに当たり資金調達のためには募金と資金源開拓が必要で、役員は自ら資金源となることによって、資金源開拓の先頭に立つ。



戦略と成果実現のために

- ◆ 病院は危機に直面している。この危機を活用してどのように貢献できるか(機会にするか)を考える。戦略をもち、人材を探し、育て、成功することを信じて進む。
- ◆ 戦略は重要で、成果の成否は戦略にかかっている。ミッションを成果に結び付けるものが戦略。
- ◆ 戦略が意図を行動に変えるために、どのような資源と人材、方法が必要かを明らかにする。
- ◆ 戦略を立てるためにはミッションに基づく明確な目標とサービスの受け手は誰か、受け手の細分化分析と具体的対応策、期限の設定が重要。

リーダーのところがまえ

- ◆ 成果実現の条件は責任者となってくれる人材を探し、得意分野に焦点を合わせ、自ら何をするかを考えてもらう。「守る会」でボランティアで活動するという事は社会のリーダーであるということに自覚することでもある。

◆ リーダーは少なくてもよい。組織を動かす鉄則は上位1割を動機づければ全員を動かすことができる(反対であれば全員を失う)。

リーダーをリーダーたらしめるのは肩書ではなく範となることであり、リーダーシップとは模範になることを意味する。



旧知の高木哲医師(大町病院)を紹介する江口講師

信頼関係と成果は

- ◆ 病院と「守る会」は信頼関係を必要とする。信頼とは相手に何を期待できるかを知っていることであり、それは相互理解を意味する。
- ◆ 人が何事かを成し遂げるのは強みによるのみである。皆がそれぞれ強みを発揮できるように配置する。ボランティアは仕事の成果だけが報酬である。目標と基準さえ明らかであれば評価は他人がしてくれなくても、自分自身でできる。
- ◆ 成果を上げるために、ある大学病院では会計係や技師までが、年に1週間ほど看護師の助手として働く。人を長期に渡って同一部門におかず、現場重視が重要である。

チャンスとリスク

- ◆ 組織の仕事は計画や方針だけでは進まない。期限を切って、持てる技術や知識を駆使し、成果に責任をもつ者が行動すること。
- ◆ たえず自問すべき点はいかなる成果をうみ、それに責任をどうもつべきか。人々にどう呼ばれたいか・どう呼ばせたいかを考える。
- ◆ ボランティアは報酬のために働くのではない。大義のために働く。そのためにミッションを感じる事が重要で、組織

には情熱の火を燃え続けさせ、仕事を労働にしてはいけない。

◆組織を作るにはわれわれは何をしようとしているのか、目的を達成する上でカギとなることは何か、活動に一人ひとりの強みを組み合わせる。

信頼関係・成果のために



責任ある仕事と自らの成長

◆「守る会」の仕事を通じて自ら成長していかなければならない。そこから充実と自信が生まれる。

能力は仕事の質を変え、人間も変える。

能力なくして優れた仕事はありえず、自信もありえず、人としての成長もない。

◆全員が目的の達成には自分の存在が不可欠であることを実感できるように仕事を組織することが大切。

◆成功に必要なものは肩書きでなく責任である。

◆成果をあげる人と上げない人の差は才能ではなく、それは心の姿勢である。

◆成果を挙げるのは人間関係を作る能力である。コミュニケーションをよくするためのポイントは聞く力（能力）にある。

◆組織の成長は仕事の意味を絶えず捉えなおすことにある。

◆「守る会」は社会に、人々に何と呼ばれたいか何とよばせたいか。そのためになにをやるのか。それが課題の根本である。

(文責：高橋博久) (講演筆記：種山良治・興国和美・太田美知子)

終了後、江口泰広講師と役員が懇談会

講演会終了後、黒部観光ホテルにおいて会費

制で開催され役員中心に18人が集まりました。



江口泰広講師を囲んでの懇談会参加者

SBCラジオに出演

公開講演会に先立つ9月22日、久野恵美子アナウンサーが来市、SBCラジオで守る会と公開講演会PRの放送が病院会議室より生放送で行われました。会長より日ごろの会の取り組みと会主催の公開講演会への市民の参加呼びかけが行われました。



打ち合わせする北村会長と久野アナ

山田院長が事業管理者に

10月1日より、大町市病院事業管理者に山田博美院長が就任しました。「短期的には病院経営の改善、スタッフの確保、中長期的には迫りくる少子高齢社会への対応を行っていききたい。」と述べました。活躍を祈念します。みんなで応援しましょう！！

安藤先生ありがとうございました

斉藤先生お願いします

産婦人科の医師が変わります。10月より安藤大史先生が異動され斉藤慶弘先生が着任しました。診療日は毎週火曜日と金曜日です。

安藤先生はNHKのど自慢に本選まで出場するなど行動派、熱血漢で優しさをモットーとされていました。市立飯田病院でのご活躍をお祈りします。

きらりかがやく協働のまちづくり

事業の 中間調査が行われました

大町病院を守る会はきらり輝く協働のまちづくり事業より31万円の助成を受けています。この事業の活動状況を10月7日、審査委員の8名により現地中間調査が行われました。病院内の20箇所に置かれたありがとうメッセージポストやメッセージの掲示板など事務局の案内で見て歩きました。また用意された会報など資料について説明をしました。

お知らせ掲示板

剪定・花植えボランティア作業は

10月30日(日) 午後1時30分～3時

小雨決行・・・病院玄関前へ集合してね!!

剪定は 持ちもの剪定はさみ・のこぎり・なた・脚立

花植えは 草削り・移植ごてなど・・・宿根草を植えます。

保険は会で掛けます。温かいかっこうできてね!!

市民参加と協働のまちづくり

フォーラム in 2011

守る会からも高橋次長が発表します。

11月6日(日) 13:30～16:30

場所 大町公民館分室 2階 講堂



10/1 公開講演会で受け付ける西沢・小林・黒岩幹事

インフルエンザ予防接種は・・・

10月11日(火) から

接種日時

月曜日・・・午後2時30分～午後3時30分

火曜日～金曜日・・・午後2時～午後3時

土曜日・・・午前11時～正午

接種場所 内科外来

接種料◆満65歳以上の方、および60歳以上65歳未満であって身体障害者手帳1級相当の方1,000円

◆その他一般・・・3,500円

予約申し込み

午後3時から午後5時まで医事科外来係

受け付ボランティア募集

時間 8:30～11:30まで(土・日を除く)

内容 車いすの介助・受診カード受付機お手伝い・院内の案内 週1日でも月1日でも可。(問合せはTEL22-0415 宮脇事務長・傘木さん)

インターネットに会報が掲載されました

守る会会報1号から9号までがインターネット上に掲載されました。

■市立大町総合病院ホームページの右下の「病院を守る会」欄をクリック、または「大町病院を守る会」で検索してみてください。

【この会報は大町市きらり輝く協働のまちづくり事業の助成を受けています。】